情報局編輯 七月十二日・第三二九號

寫眞週報

時の立札

戰ひなり

戰ひのほかに
何かあるべき

怒りなり 猛々(たけ)し日本男子(やまとをのこ)の
血をそゝげ、脈々とつくるなき血を

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

内南洋に乙旗 サイパン激闘続く

怒濤の舷側を蹴ってわが艦隊は敵機動部隊との決戦へ

サイパン島とノルマンディ海岸―世界の眼は、齊しく

この兩地點に展開されてゐる凄まじい戰闘の推移を凝視する。毎日を出でぬ裡に捲き起つた二つの戰闘こそは、日獨對米英の運命を決定するものであり、世界の歴史を創造する一戰なのである。そのいづれにも妥協はない、あるものは、生か、死のみ

開戰以來、滿を持して發せざりし帝國聯合艦隊の一部、既に黑潮を蹴つて戰場に在り

われら一億、渾身の戰力もて、驕れる醜虜を徹底的に粉碎し盡さではやむべきでない

皇國の存亡、正にかゝつてこの秋にある

サイパン島が中部太平洋方面における日米兩軍の新たなる戰場として登場し來つたのは、實に六月十一日、敵米海軍の有力なる機動部隊が、マリアナ諸島東方海面に出現した時期にある。同日午後、サイパン島に來襲せる敵機群の投じた爆彈こそは、そしてこの敵を邀擊して開いたわが所在部隊の砲門の閃き、航空部隊の轟音こそは、この方面における激戰の序曲であつた

十一日午後よりサイパン島、テニヤン島、大宮島等に爆撃を開始した敵は、十二日には一部艦艇を以て艦砲射撃をも加へ來り、十五日朝、砲爆撃の掩護下に敵兵力の一部はサイパン島に上陸を企圖し來つた。敵は、二度まで水際において撃退されながら、執拗に三度上陸し來り、遂にサイパン島の一角に據點を確保し、爾後、兵力の増強に努力を重ねてゐる

敵のサイパン島に上陸し來るや、わが所在部隊は勇躍、頑敵に痛打を與へ、同島に在留する同胞もまた老若男女を問はず、所在部隊の作戰に協力、頑敵殲滅に身命を賭し、今なほ死闘をつゞけてゐる

一方、帝國聯合艦隊の一部は、マリアナ諸島海域を游弋、敵のサイパン島上陸作戰に行動しある敵艦隊を索めて出擊、十九日マリアナ諸島西方海面において三群よりなる敵機動部隊を捕捉、これに先制攻擊を加へて、戰闘は翌二十日に亘つたが、決定的打擊を與へ得なかつた。さらにわが航空部隊も、サイパン島における敵の揚陸地點、舟艇群を攻擊して地上作戰に協力し、或ひは硫黃島、大宮島等に來襲する敵機群を邀擊、進んで敵機動部隊を索めて、これに猛擊を與へる等、寧日なき奮闘を續けてゐる

十一日以降二十五日に至る間のわが方の戰果を綜合すると

	撃沈	撃沈破	撃破
戰艦	一隻	一隻	二隻
空母		五隻以上	四隻
巡洋艦	二隻		四隻
驅逐艦	一隻		
艦型未詳	二隻		一隻
輸送船			六隻
潜水艦		一隻	

擊墜せる敵機 四五二機以上

わが方においても十九、二十兩日の海戰に航空母艦一隻、油槽船二隻、飛行機五〇機を喪失したほか、船舶、飛行機に相當の損害を出してゐる

サイパン島を中心とする中部太平洋方面の戰闘は、今、酣

である。敵はこの方面にその太平洋艦隊の大半を集結して、侵攻し來つたもので、わが方累次の攻擊に戰艦四隻、空母九隻以上にみる如き損害を蒙りつゝも、敵艦隊は依然としてマリアナ諸島を中心とする海域を游弋、サイパン島に對する攻擊のみならず、わが内南洋の諸島に對する爆擊を漸次强化しある狀況にある

リスボン二十三日發、同盟電の報ずるところによれば、同日、敵米海軍當局は「今次サイパン侵攻の主力は米第五十八機動部隊で、この部隊は、巨大な洋岸砲列に匹敵し得る巨砲以下各種の火砲八五〇門を裝備し、一時に艦載機一〇〇〇機を飛び立たせ得る。八五〇門の火砲は米國基準砲兵隊七〇隊の威力に相當する」と豪語したとのことである。敵の豪語はともかく、敵がこの方面においてわが戰略要線に楔を打ち込み、わが補給路を遮斷し、以て我を封殺せんとの企圖は、ニミッツ、ハルゼーのしばしば言明せるところであり、かつ米海軍長官フォレスタルもまた『太平洋における米軍の攻勢は正に永久攻勢である』と放言して憚からぬ事實に徴して、この方面に集結せる敵の兵力は、太平洋水域に在る米海軍の最精强をすぐつたものであることは爭へない事實である。從つて敵の戰意において、物量を侍むとはいへ、まことに侮り難い

サイパン島はわが本土より二、二八〇キロ、この距離は敵大型機の行動可能の距離である

戰火は、正に本土に及ばんとしてゐる

しかしながら、敵がわが本土に接近し來つたのは、これを撃滅するの好機を與へられたにほかならない。われらはこの好機を逸することなく、敵に決定的打擊を加へ、この一戰に打ち勝たねばならぬ

その打ち勝つ力の根源は、一億の攻擊精神である。戰線に、國内に、一億の攻擊精神を發揚せよ。そして醜虜を討ち、伐て！

われらの乙旗は、殺氣横溢せる黑潮に照り映えて燦たり。われらに突擊を命じてゐるのだ

大本營海軍報道部

⇧「獲物は多いぞ」と怒髪天をつく若鷲は、出擊に意氣軒昂　長島海軍報道班員

一億防空の意氣天にも屆かん！　石川 進介

海軍志願兵の徴募

日本の青少年諸君!! 黑潮が君を呼んでゐる。皇國創世の太古、太平洋に流れ初めた、日本の黑潮が君に叫ぶ聲が。

〝海の決戰場へ突擊だ!! 黑潮を穢す醜虜を一人餘さず屠り去れ〟

大空の決戰場へ征で立つ君の友人は、既に少年飛行兵として進擊した

今度こそは、君の番だ 海軍志願兵となつて興亡決戰場に起つ勇者、君のこの勇姿をこそ、日本の黑潮が待ち望んでゐる

志願者の年齢は各兵種によつて定められ、採用の年、つまり昭和二十年十二月一日現在で計算するもので次ぎの如くである

募集されてゐる志願兵は

兵種	年齢
水兵（一般水兵）整備兵、機關兵、工作兵、衞生兵、主計兵	（大正十二年十二月二日より昭和四年十二月一日までに出生したもの）
水兵（少年水測兵、少年電信兵）	（大正十四年十二月二日より昭和五年四月一日までに出生したもの）
少年飛行兵（乙種飛行兵）	（大正十三年十二月二日より昭和五年四月一日までに出生したもの）
軍樂兵	（大正十三年十二月二日より昭和三年十二月一日までに出生したもの）

志願書提出の期日は各府縣で一般に告示する。徴募檢査はだいたい九月から**十一月**に行はれ、學力試驗は讀書と算術（**國民學校高等科修了程度**）である。入團（隊、校）期日は採用證書に提示されるが、手續の詳細は市町村役場に問合はすこと

翼の曽産に乙女起つ

合言葉『サイパンを想へ』

『サイパンへ飛行機を』と叫ぶ乙女は涙にふるへる

警戒警報下の七月四日、交替時間に開かれた片倉工業〇〇航機製作所の緊急職場大会は女子工員も女子挺身隊も學徒挺身隊もなく、全工場を烈々たる闘魂に燃上がらせた

同じ年ごろの乙女が皇軍に協力してサイパン島で頑張つてゐると傳へられてから、誰がいひ出したともなく、女子工員はキリツと白鉢巻を結ぶとともに、生産は日毎にぐん〳〵と増えて來た

『もつと飛行機を造りたい。私たちは職場に仆れても構ひません。是が非でも、深夜業をさせて下さい』

止むに止まれぬ乙女の決意に、それまで十二時間二直制の實施を危ぶんでゐた嶋永所長も遂に動かされた。晝も夜もなく、轟々と軋る職場で闘ふ乙女は、宿寄舍の灯の下で僅か五分ひの時間に相談して、さらに増産蹶起を誓ふこの職場大会が開かれたのだ

『やるぞ』

唇をぐつと噛んで聽き入る乙女も學徒もひとしく、明日からは増産へまつしぐらに突入だ

サイパンの同胞を思へば、この身が碎けようとも、最後の血の一滴までも闘ふのだ。乙女達で賑つこの秋、一億とぞつて増産へ突撃だ

富士提供　讀賣新聞社

週間點描

神州の前衛サイパン島を鮮血に染め、わが將兵は戰ふ。万余の同胞また悉く起つて闘ふ。嘗てわれらが祖先は、壹岐、對馬に寇せる元軍を邀へてこれを殲滅した。あの日の祖國の壯絶を思ふべし。わが二人の愛兒を國難にさゝげんと、自筆の歎願書を持ち、馳せ參じた老母もあつた。あのとき正に敵氣心は皇土を蔽うたのである。再びそ邀ふ來寇。陸予撃つべし。海予うつべし

サイパンの決闘その後の經過は、

一、大本營發表（昭和十九年七月一日）一、わが航空部隊は六月二十四日小笠原群島方海面に於て北上中の敵機動部隊を補捉強襲し、航空母艦二隻、輜重艦二隻を撃沈、敵機五五機以上を撃墜せり　我が方の損害未歸還四六機なり　二、わが航空部隊はマリアナ諸島守備部隊の勇戰に呼應し、雨日來襲する敵機を邀撃、撃退すると共に、サイパン島の敵陣地及び附近海面の敵艦船を攻撃中にして、六月二十日以降、同三十日までに判明せる戰果左の如し

撃沈＝戰艦　一隻　駆逐艦　二隻
撃破＝航空母艦　二隻　駆逐艦　二隻　輸送船　五隻
撃墜＝二一一機

二、大本營發表（昭和十九年七月四日）一、サイパン島の我部隊はその後引續き敵艦船と激戰中なり　二、敵機動部隊は七月三日硫黄島を空襲し同四日朝來再び硫黄島及び父島を空襲せり、所在の我部隊はこれを邀撃激戰中にして只今までに判明せる撃墜機数三〇機以上なり

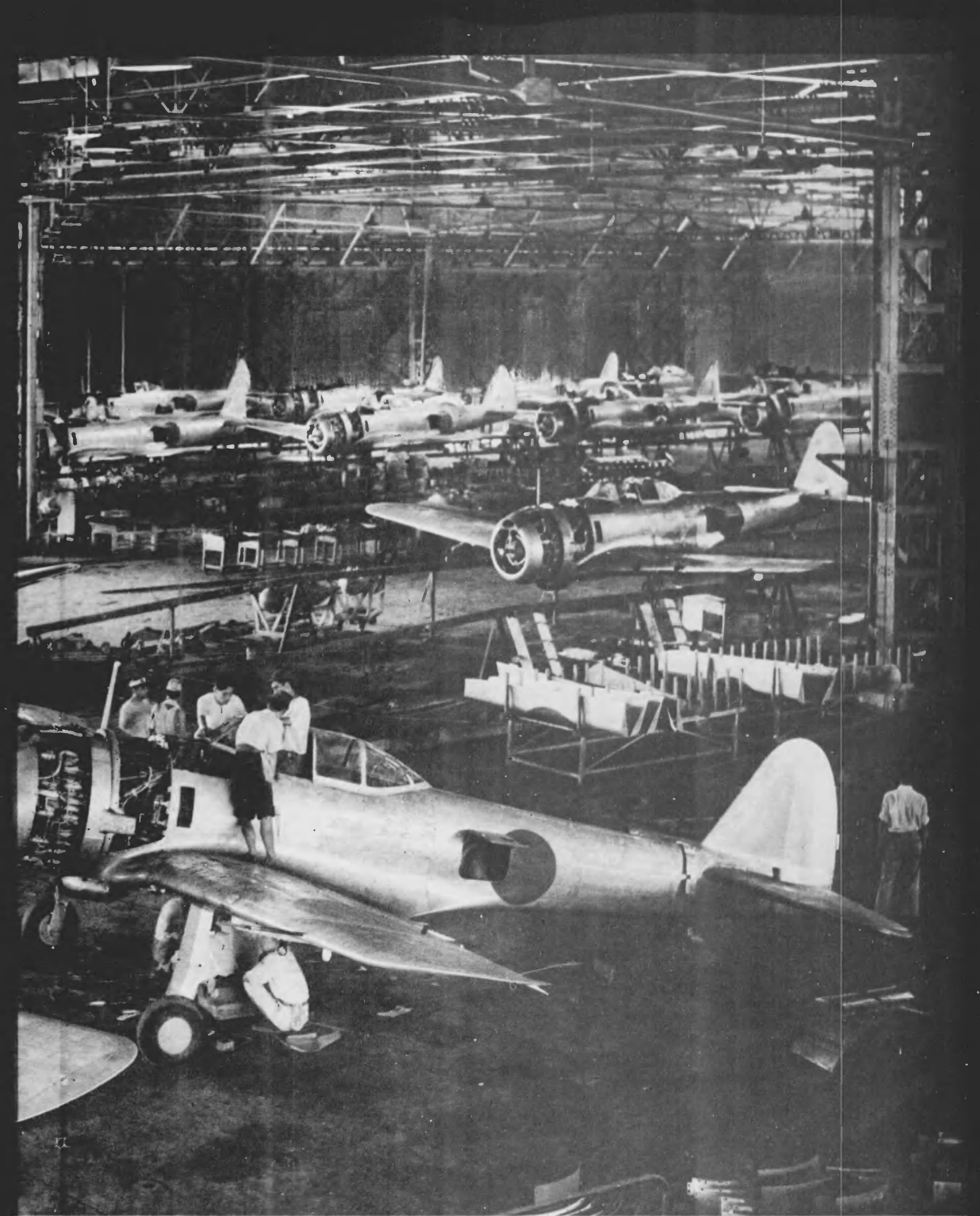
三、大本營發表（昭和十九年七月五日）

サイパン島の狀況次の如し

優勢なる敵は兵力備及び艦艇の爆撃の援護を受けつゝ、戰車を作り強襲し同島東北部の我陣地内に進入し來り、戰線は我部隊と敵我錯綜し所々に白兵戰を展開しつゝあり、我部隊は陸海軍一體となり奮戰よく陸海軍將兵の勇戰奮闘にもかゝはらず敵の損害は未だ局部にすぎず、サイパンの妖雲ますます濃し。いまぞ大和民族、伸統の力を發揮、決然として機敵撃破の秋は來たのである

しかも父島は、本土を距る僅かに八百八十キロ、硫黄島までは千二百餘キロ、同方面への敵機動部隊の出現は更にわが本土に近接する公算が大であつて、機を狙ひつゝある敵の本土空襲に對しては十分警戒しなければならない。殊に敵戰爭指導者は口を揃へて、七月四日（日本時間七月五日）には東京爆撃を敢行すると揚言し、また一昨年四月十八日ホーネット號から飛立つて東京空襲に參加した米陸軍大尉ローソンは『再度の東京空襲は前回より遙かに大規模のものとならう』と斷言してゐる。これらの言を俟つまでもなく、今後敵の空襲企図が一層熾烈となり、その規模も單にゲリラ的なものでないことは、十分豫想される……いまや文字通り國内も戰場である

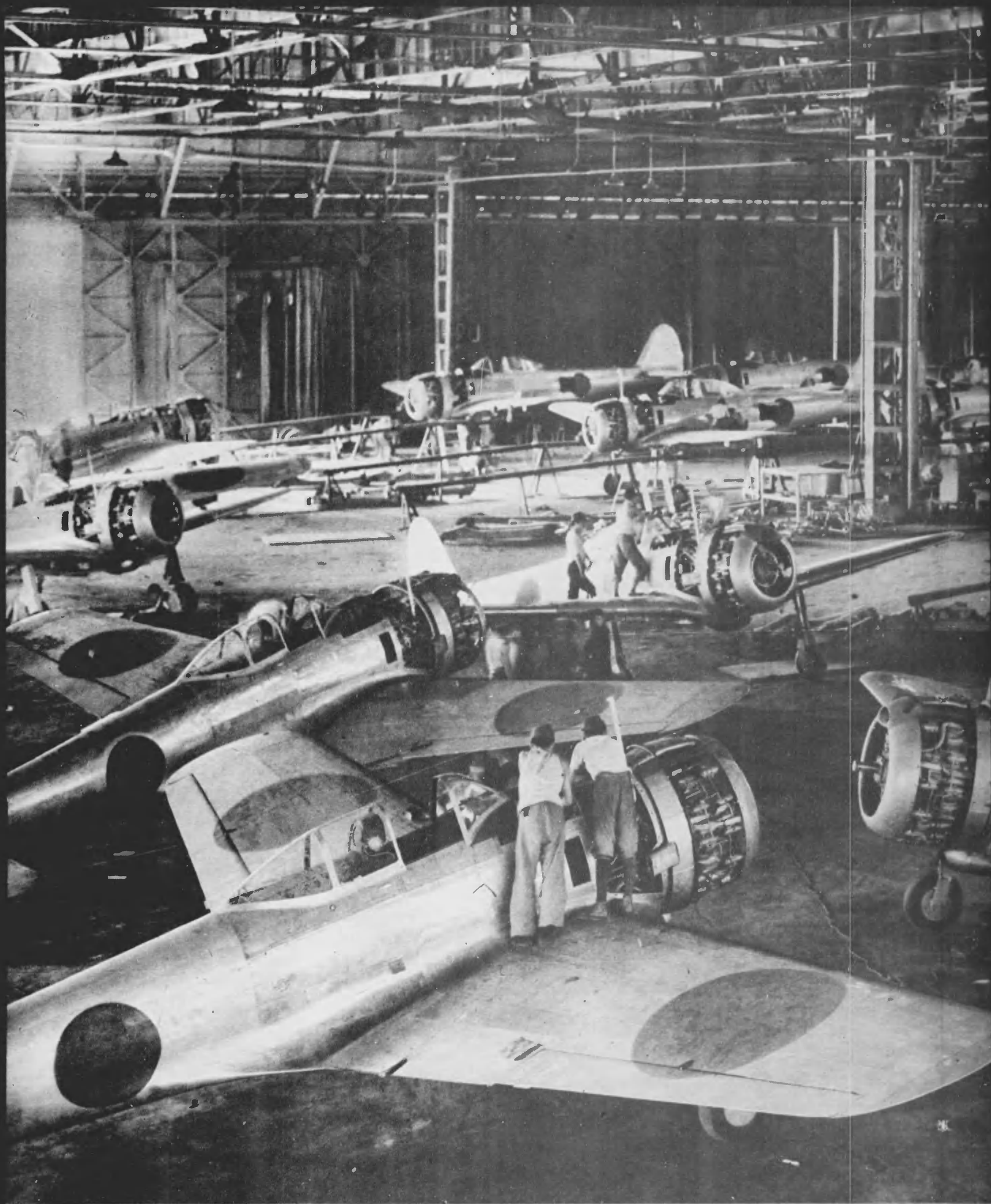
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/



戰力蓄積

戰力を蓄へよう。
われらの血と汗、
そして神州の生氣
が凝つて戰力となり、敵の頭上に炸烈する日の壯絶さを思はう
時はいま。物量を恃み、物量によつて勝敗を決しようと、皇土に迫る醜虜の鯨波が太平洋を越えて、身近かに聞えてくるではないか
さあ、一億の總力を結集して戰力を積まう

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/



造れ！敵撃滅の翼

無敵新鋭機は並ぶ、並ぶ、工場も狹しと。昂まる工員の氣魄が遂に飛行機となつて爆發したのだ

暑熱も何のその、增産に光る汗こそ戰ひの汗だ。一機また一機を決戰の大空へ舞ひ上らせよう。枚をふくむ銀翼は『早く戰はせてくれ、時はいまだ』と叫んでゐるではないか

驕敵を痛打する戰力も、驕天の戰果も、增産魂に決する。遺らずばやまざる工員の闘志を發揮しよう。こゝが戰力の第一線だ

◇また一機出來たそッ！次ぎだッ！

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

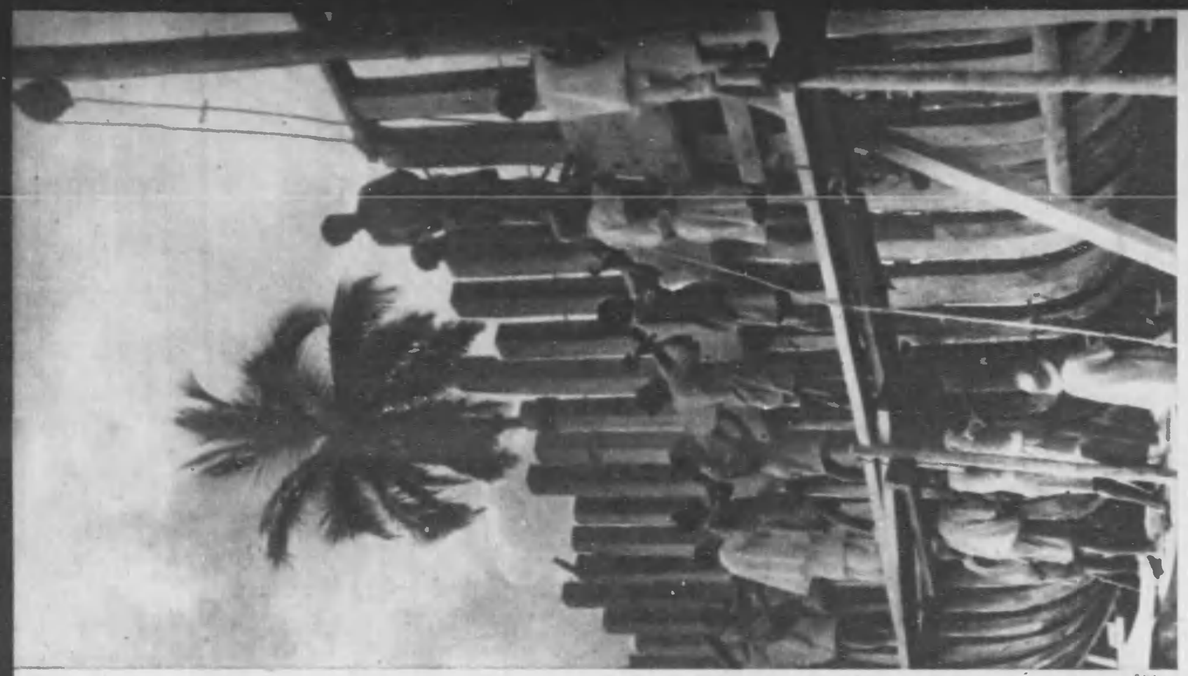
□ 勝利の日くのとすちの感激をひくもの、「万歳、万歳」と内地の皆さんと本国籍の新打ちやすと、好くやらなる感激を物ともせず頑張つてゐる心底深は大したものやはありませんか　東京　三田清美軍曹

□ 兄弟、どうも出るとも日本の兵隊さんのやうに足をとらくて一人ぐやすキ

□ 『ヨーイ』と兵隊さんのとストルと、南の海を渡てたアールをの孔雀さんから正式の決をも乗えてしまひ、白いしぶきをあげての蛮兵隊さんたちも苦をまいてゐるさらやです　東京　藤田成米軍曹長

□ 高砂が『ボルネオ』地区以来すでに二年後、原住民たちが真実に信頼して、いろ〳〵と建設事業に精神的な協力をしてゐることは、たび〳〵本誌で紹介いたしましたが、クチンの公民学校のヨイコたちも、日曜ごとに戦争捕虜たちの家におまゐりして日本によせる美しい心をみせてゐます　東京　小手川軍曹撮影

□ 新らしい花とともあくて、きれいにさはりを嬉しいて——日本の祈り、ボクたちが代つてお祈りします。安心してタメまら　東京　小手川軍曹撮影



共栄圏だより

□ 三尺の秋水に『海の道』を渡く日本の郷土

□ 新嘉坡市場の第一線に新しく生れかゝる現地人のために、この九月、スマトラ『フ』市には新嘉坡学校が開設されました。費用は官給や、全部学校に入り、きびしい軍隊教練の中にもとく人東亞精神の教育と技術の修得に毎日終会があります　東京　ライ・ストラ写真部

□ モーレスでの用語は日本語！本場、生徒は中等学校三年修了程度。有数を大〳〵に世界の前も布守に誇いて——

□ おまく過ぎ、誠れ、已拾げまでこの国は大しく海道

□ 日本の農産物が共栄圏から叩き出してくれた特産物ひろかつてゐますが、こゝビルマでも、南方各地には米飯が日本人婦七、第二指揮官のもとに日夜猛訓練をしてゐます。凄い気合はインドくもひゝけと南国の空空に響してゐます　東京　片山陸軍特派員

戦力の屑紙を回収しよう

生活から米英色を叩き出せ

とこれまで、幾度か叫ばれた『もう米英色なんか捨つてないぞ』と反問する人が恐らく多いであらう。その通りであれば、全く心強い次第であるが、生活の中でも見落したり、気付かないところに案外敵の手先のやうな米英色がまだ潜んでゐはしないだらうか

例へば紙である。アメリカは世界一の紙の産出国であることを文化が高いからだ、と誇つてゐるが、紙を粗末にして顧みない考へ方とそ、これと一脈相通ずるものである。昔て水戸光圀が紙漉き場を侍女に見せて、紙の産出を減じめた有名な話に知られる通り、われらには紙を大切にする習慣があつたが、いつともなく紙を粗末にすることが文明国でもあるかのやうな、誤つた考へ方を持つやうになつてはゐなかつたらうか

紙を粗末にすることを今こそやめよう。実に紙は大切な兵器の一つである

六月二十一日から樺太、沖縄を除く全国の都市に実施された古雑誌類の引換へ回収も、屑紙を一枚も多く回収して再生し、決戦に役に立たせるためである

何故かうしたことをするかといへば、紙は戦争にとつて一般に考へてゐるよりもずつと大切であり、また使はれてゐる紙の量にしても思ひがけないほど多い。『一枚の傳単はよく爆弾以上の効果がある』といはれる通り、直接宣傳戦に使はれる紙ばかりでなく、紙は戦時生活にとつて切つても切れない關係がある

これに引きかへ、木材等の製紙原料や燃料の不足に加へて、輸送もまた非常に窮屈となつて来て、紙の生産はぐんと減つてゐる。これを打開するためには、まづ紙を大事に使ふことが大切である一方、屑紙などの廃紙を回収して、再生紙とすることも大切である

このための古雑誌類の引換へ回収であつて、これは本誌と週報を除く新らしい雑誌を書店で買ひ求める時には、たとへ専門雑誌でも古い雑誌類を引換へに供出するわけである。古い雑誌類といふのは、いはゆる古雑誌や古い書籍、その他か印刷した冊子、古いノート、いらなくなつた帳簿などのことで、表紙がちぎれてゐても、頁が缺けてゐても、雑誌や書籍の愛好をしてゐるものならよく、その表紙に供出本と明記しておく。買ひたい雑誌と同じ雑誌でなければならぬことはないが、なるべく買ひたい雑誌よりも多い目の頁数のある古雑誌類の供出が望まれてゐる

古雑誌のうちには、相當の価値があるものもあると思はれるが、廃紙で再生紙を造るのが目的であるから、この際無償で供出する

かうして供出された古雑誌類は、書店から集められて日本古紙統制組合に渡され、さらに製紙原料、或ひは製紙原料となる。これで得た代金は公益に使はれることになつてゐる

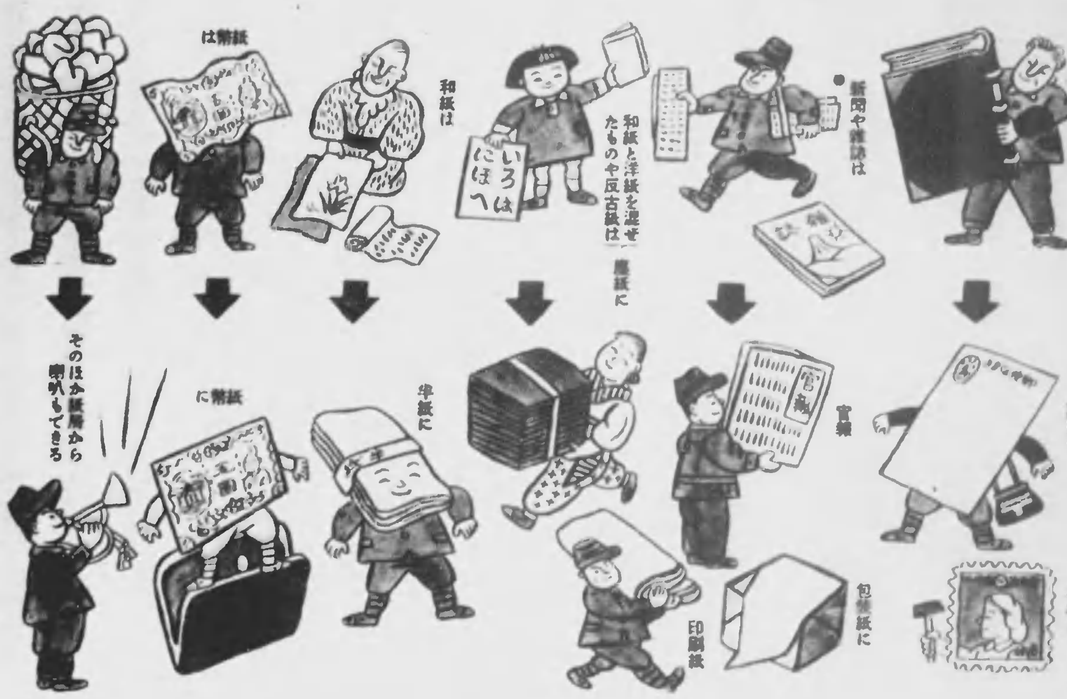
この際、雑誌の引換へ回収はかりでなく、あらゆる廃紙を回収すれば、どんなに戦力増強になるであらうか

たとへば紙屑なぞでも、馬鹿にならない。東京都だけでも昨年中にでた塵芥のうち、紙屑が八十二万九千五百六十瓩貫に達してゐる。ところでパルプ資源に乏しい友好国ドイツは、毎年平均廃紙の七割五分を回収して、紙不足に役立たせてゐるに反し、わが國ではパルプ自給率が八割三分（昭和十三年）で、それを補ふために、戦前三千百七十五万円餘もアメリカに支拂つてゐたのにも拘らず、さ程百六十万圓分に當るといふ。東京都の紙屑だけで、こんなに大きな戦力になるのであるから、さらに全國の紙屑が捨りなく回収され、再生されたとしたら、質に莫大な戦力が直接生みだされてくるので、紙屑とて馬鹿にならぬわけだ

また、紙の原料となるぶな、えぞ松、とど松は、いづれも今日注目をひいてゐる木製機の素材となる。そのうちのぶな一つをとり上げてみど家庭で使ふ紙に不自由しないため、一般の廃紙回収に對する熱意もうすくて、昭和十五年にはわづか二割五分が回収されたにすぎなかつた

大東亜戦の輝かしい大戦果によつて、無限の資源を南方に持つことになつたが、紙のパルプの多くは北方材によるものであるから、ジャングルの豊富な南洋材をパルプ資源としようとする研究が進められてゐても、なほ未知數である

回収された紙は、こんなものに再生される



また、紙の原料となる木材の節約は各方面の増産を早めるまたパルプを紙にするための原木輸送が控へられると、それだけ決戦輸送が円滑となり、さらにパルプ製造に要する石炭や労力がぐつと減つて、戦力増強に廻るのであつて、莫大な戦力が生み出されてくるか否かは、ほんの僅かなわれらの心掛一つにかゝつてゐるのだ

さて、その心掛とはどんなことか。誰でも知つてゐるやうに、紙は使ひ途が多いからそれだけ種類も多い。従つて非常に手間がかゝるが、豫じめ廃紙を紙質別にだいたいでよいから揃り分けろ。それにはまづ

和紙と洋紙とを分ける。和紙と洋紙とを混ぜてしまつては、浅草紙程度の粗紙しか再生できない。また洋紙も、ボール紙、古新聞紙、古雑誌、反古紙とさらに細かく分類しておけば、ボール紙はボール紙にといふやうに、だいたい元の紙質に再生できるから、紙質のちがふものを一緒にすることは避ける

インクや墨で汚れた紙は再生へないが、それ以外の汚損紙は消毒しなければならぬため、やはり別にしておく

また、わかになつた紙はすべて伸ばしておく。また紙は初めから小さく切り刻んだりしないやうにする。そして廃紙はなるべく多く集めて纏める

そのためには、各家庭でそれ〴〵吟味した紙屑を毎月きまつた日に隣組や町会に持ち寄つて、買出人に渡し、代金を共同貯金すれば、一石二鳥の戦力増強になる。かうすれば人手の足りない折柄、買出人も一軒々々ルかなくてすむので、廻り廻ることができ、廃紙の回収がつと強化されよう

きれいな新聞紙は先づ袋などに使つた後で供出するやうに、一度使つた紙も二度三度使ひ、その上で改めて再生紙にしてこそ、父祖傳來の、物を大切にする生活がわれらのうちに蘇へつたといへる

決戦は科學戦であり消耗戦である。金属に代つて紙が、直接兵器に飛行機に使はれる日さへ迫つてゐる。現に英國では飛行機のガソリンタンクを再生紙で造つてゐると傳へられてゐる。これほど大切な兵器だ。紙を大切にしよう

接着剤

ラジオゾンデが発達したため、金属製の飛行機では空襲が敵に先立つて知られてしまふので、木製飛行機が再びもてはやされるやうになりました。もちろん昔の木製機とちがひ、木を強く改良したものですから、金属機に劣らない性能をもつてゐます

ではどうして木がそんなに強くなつたのでせうか。木だけで強くなつたのではなく、強い接着剤ができたからです

この接着剤にはどんなものがあるでせうか

まづベークライトでよく知られてゐる石炭酸樹脂ですが、これは石炭酸とフォルマリンを反應させるとできます。そして反應がまだ除りすまないベークライトAといふものを、アルコールに溶かしたのが、合成樹脂による最初の接着剤でした。これを木の薄い板にしみこませてから何枚も重ねて熱しながらおしつけると、木の中へ合成樹脂が入りこみ、ベークライトとなつて硬くなり、木の繊維がぴつたりついて、新らしく強い木に生れ變ります。これがつまり強化木といはれるもので、プロペラに使はれるほど強いものです

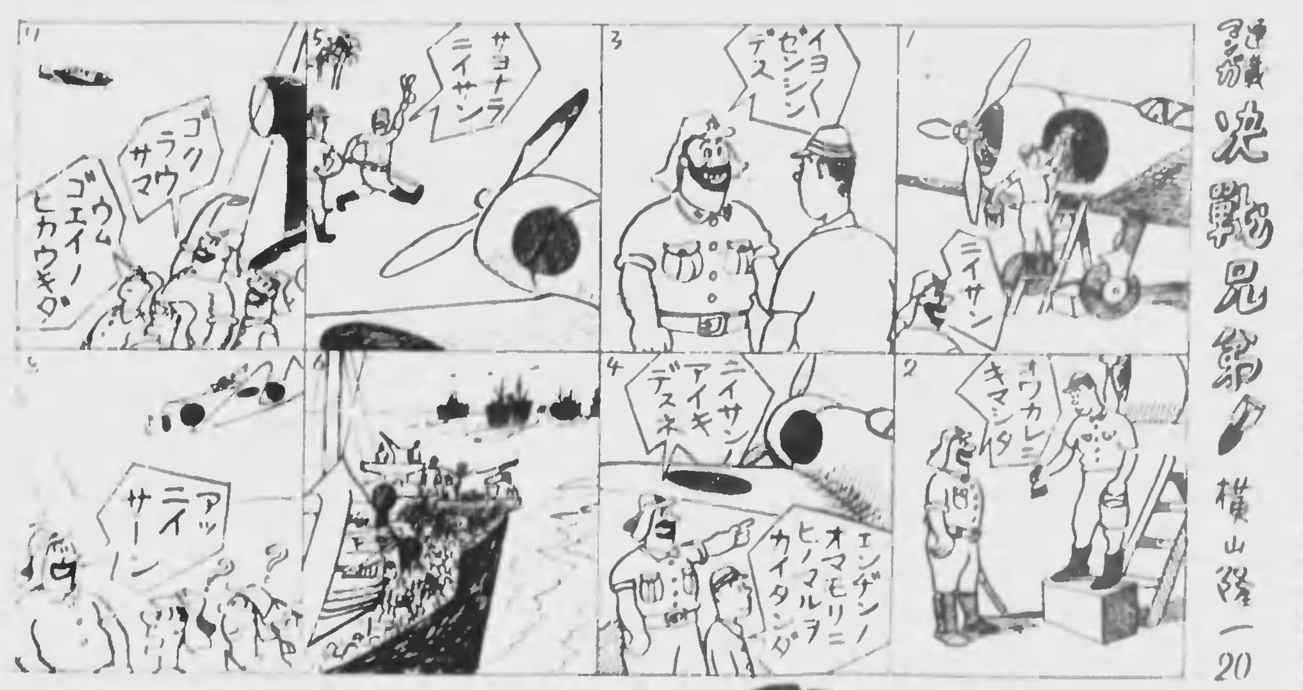
しかしこの接着剤では、熱を加へなからおしつけねばならないため、手數がかゝりましたが今では學者の研究によつて、普通の温度でも簡單にできるやうになりました

次きには、尿素とフォルマリンでできる尿素樹脂の接着剤ですが、これは初め水にとけ熱すると反應が進んで硬くなり、接着力が強くなり、水に耐へるやうになります。また、これを水に溶かしたものに、塩化アンモンを加へて反應を進めると普通の温度でも接着できます。この便利な性質のおかげで、木と木、強化木と強化木を互ひに接着させることができるので、飛行機を接着組立てるのに特大切です。その中でも有名なのにドイツのカウリットといふ接着剤があります

わが國の有望な接着剤には、近ごろできたメラミン樹脂の接着剤がありますが、これは石灰窒素を原料としてできるメラミンにフォルマリンを反應させてつくります。これは尿素樹脂の接着剤と同じやうな性能ですが、高い温度や水に強い點がすぐれてゐる上、原料が豊富なためわが國にうつてつけの接着剤といはれてゐます

このほかに新らしく合成樹脂の接着剤が次々と生れてゐますが、それはわが國の原料を生かした接着剤で立派な飛行機を造らうといふ科學者の努力の賜なのです

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/



漫画文藝 決戦農園

今回から當分本欄を擔當されるのは次ぎの諸氏であります

（五十音順）伊馬鵜平　丸山義二　川端康成　山本周五郎　堤千代

私の本家の叔父は、ことし七十七歳の老翁である。あととりの一人息子が朝鮮の京城に住んでゐるので、ひろい藁屋根の家に、叔父夫婦は昔氣質の老地主らしく、森閑とくらしてゐる。老地主然——といつても、十八世紀のロシアの作家たちが描いたやうな、あんな有閑地主の生活では斷じてない。

叔父夫婦の明け暮れは、まつたく田圃とともに在り！　である。身分からいへば私の部落どころかおほきく村一番といふ地主の家でありながら、叔父も叔母も七十歳をとつくの昔に越えた老齢の身で、なほ七段ルの二毛作田に一段五畝あまりの畑を作つてゐる。

役牛も一頭飼つてゐるし、鶏も、肥料不足にそなへて二十羽の除飼つてゐる。

『鶏卵なんて、ありや子供らがたべるものだぞ！』

叔父の言葉である。だから叔父夫婦は鶏を飼つてゐながら鶏卵は一つのこらず供出してゐる。だが、叔父夫婦はかくしやくとしてまつたく櫟の樹を思はせるやうな元氣さである。

小麦刈りがすんで、野良は田植支度にいそがしい或る日の早朝のことであつた。その叔父がとある川べりにうづくまつて、なにかごそごそと手さきをうごかしてゐるのに出くはした。麦刈り跡の田を鋤きに出た序とみえ、毛並みの赤い朝鮮牛がそこの田の畦につないである。

私は、朝草刈りに出てゐたのである。あたりは、まだ仄暗かつた。

『叔父さん、なにをしてゐるんです？』

私が聲をかけると、叔父はふりむきもせずに答へるのだつた。

『う、捨てておけんので、な！』

みると、叔父は、そこに部落の少年團がつくつてゐる『決戦農園』の、かぼちやの世話をやいてゐるのだつた。——わが肉身ながら、私はこの叔父を誇り得る日本のお百姓さんであると思ふ。

わかった！これだ！

皆さんの創意、工夫、知識を動員してこの隘路を打開して下さい

【問題】拜啓、御無沙汰した。みんな元氣かい。南から歸つてはや半年、漸く暑くなつて我が時節到來と言ふところだが、今年の寒さには全く閉口した。二年間も冬知らずで通したんで何より風邪を警戒してマスク、含嗽の勵行はもとより、過勞を避け、よく眠り、不自由ながら工夫して榮養もとつた。勿論家族にもこの鐵則を守らせたが、その結果はなんとひかなかつたのは僕一人だけと言ふんでみんな呆氣にとられてゐる。ところがよく考へてみれば何でもないことだつた——（答へは次號）

【前號解答】洗濯の手間とします石鹸の消費を省く最大の祕訣は手まめにすることです。また下着類、殊に靴下のやうな汚れのひどいものは毎日とりかへて永く垢をつけておかぬことです。そして洗濯の際いきなり石鹸をつけて洗ひますと泡立ちも悪く分量も多くいりますから先づ丁寧に水洗ひをすることが必要です。それから金盥一杯位の水に石鹸を泡立つ程度に溶かして石鹸水をつくり、白いものから順に洗つてゆき、スフの靴下のやうなものは靜かに押し洗ひをするだけで脂垢は綺麗に落ちます。そして水濯ぎは出來るだけ丁寧にいたします

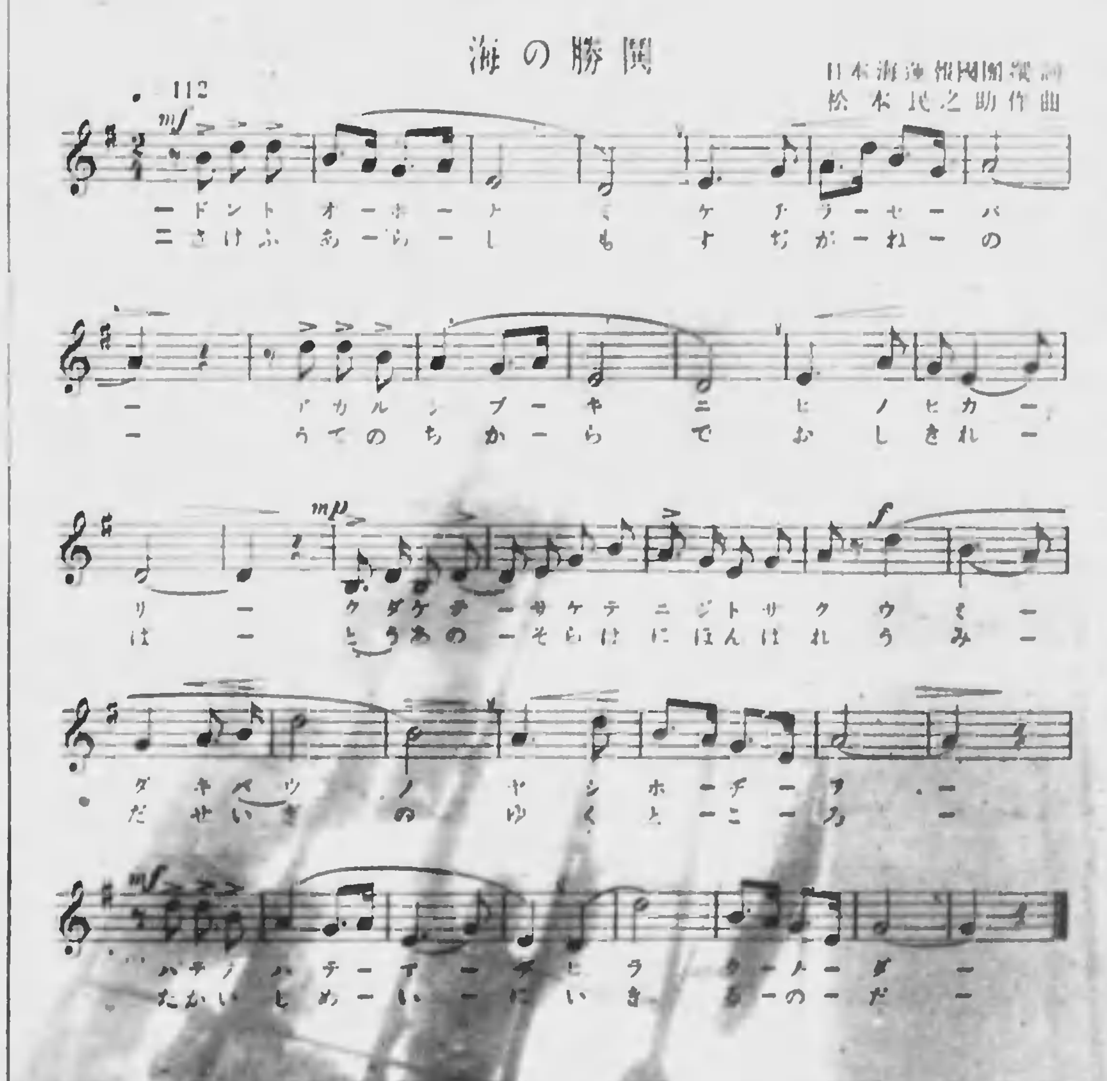
ボクは來年少年兵　大阪　木村勝正

來年の陸海軍諸學校受驗に、今からはり切つてゐる少年たちに、體格檢査をして健康向上の指導をしようと大阪國防館では、大日本國防衛生協會と協力し、每週三回指導、體格檢査をすることになりました。來年は必ず合格するぞ、と、裸かの少年たちは瞳をかがやかせてをりました⇩

⇦菅公讃仰祭作品奉献式　東京　佐藤勝介

菅公生誕してより一千一百年、さる六月二十五日を中心に各地で讃仰祭を行ひましたが、東京では二十四日、日本橋三越でこのお祭を行ひ、同時に日本文學報國會・大日本書道報國會・日本美術報國會からは全國の菅公奉祀神社に、詠草・書畫を奉献いたしました

國民合唱



海の勝鬨

一
どんと大波蹴散らせば
あがる飛沫に陽の光
砕けて舞けて虹と咲く
海だ！希望の八紘路を
進の涯まで翔くのだ

二
叫ぶ嵐も物かはの
腕の力で押し切れば
東亞の空は日本晴
海だ！日の丸の行くところ
高い使命に生きるのだ

三
[illegible]

四
[illegible]

七月十七日より三十日まで放送（日曜日午後六時四十五分より他の曜日は午後六時五十五分より）

寫眞週報（一切無斷轉載）
昭和十三年二月十六日第三種郵便物認可　昭和十九年七月十二日印刷　昭和十九年七月十九日發行（毎週水曜日發行）第三百二十九號
定價一部十錢（送料一錢）
編輯者　情報局　東京都麹町區永田町一ノ一
印刷者　發行者　印刷局　東京都麹町區大手町
申込所　全國各地官報週報普及部　書店、驛賣店、新聞販賣店
海軍關係の寫眞複製は海軍省承認濟第五一四二號です

本誌を壁新聞や掲示板に回覧や前線慰問にも

本誌を讀まれた後は、隣組や職場で回覧するばかりでなく、表紙や見開きの寫眞を「壁寫眞新聞」として活用して下さい。戦時版の狙ひもここにあります。また前線慰問にも送つてあげて下さい